

【小学校算数】

小学校
算数

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均に比べ、下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均に比べ、下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均を下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

- 小数や分数などの数の意味と表し方、計算の意味や計算の仕方などについて理解し、正しく計算すること。
- 基本的な平面図形の面積を計算で求めるなど、量の測定の仕方について理解を深め、確実に測定すること。
- 構成する要素に着目しながら図形を観察して的確にとらえること。
- 交換法則や結合法則、分配法則を活用するなど、計算の工夫について理解し、適切に用いることや、数量の関係を式で簡潔に表したり、それをよんだりすること。

改善の方向

- 既習と関連付けながら、数と計算の意味や仕組みについて理解を深め、習熟を図る指導の充実。
- 算数的活動と、式や図、言葉に関連付けながら面積の求め方を考えるなど、量の測定の仕方についての理解を深め、習熟を図る指導の充実。
- ものの形について観察したり、構成したりする活動を通して、基本的な図形についての理解を深める指導の充実。
- 目的に応じて数を合成・分解するなど、多面的な数の見方を計算の工夫に生かしたり、新しい問題場面に活用したりする指導の充実。

分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	数と計算	下回っている	下回っている
	量と測定	下回っている	ほぼ同程度
	図形	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	数量関係	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	下回っている	ほぼ同程度
	記述式		ほぼ同程度

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。